重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1</p> <p>【いじめ撲滅宣言】</p>	<p>各学年・学級で、いじめ撲滅に向けての話合いを行い、まとめとしてスローガンをつくった。1年1組は「いじめをしない、させない、見過ごさない」、2年1組は「1人1人が主人公。たった1人の『未来』や『可能性』を奪ってはいけない。」、3年1組は「いじめは一瞬、傷は一生」というスローガンを決め、生徒たちがよく目にするであろう場所に大きく掲示し、日常的な意識付けも図った。</p> <p>成果</p> <p>スローガンをつくる過程での話合いを通して、生徒一人ひとりがいじめの撲滅や個人の尊重、思いやりのある行動などについて深く考える機会となった。また、毎日スローガンを目にすることで、いじめ撲滅に対する意識づけになるとともに、話し合いの中で感じたことや考えたことを思い返すきっかけにもなった。</p> <p>課題</p> <p>1学期の早い段階で話し合いをし、スローガンの掲示をすることができたが、定期的にそれを振り返る機会がなかなかもてなかった。朝の会や帰りの会、学級活動や道徳の時間などに、意図的にスローガンを振り返る機会を設け、いじめ撲滅への決意を持ち続けさせるように工夫していきたい。</p>
<p>2 実践2</p> <p>【学校長による道徳授業と、それに関連した人権意識を高めるための掲示物】</p>	<p>5月に「あらゆる他者を価値ある存在として尊重する」という内容で、学校長による道徳授業をすべての学級で行った。また、それに関連した内容の掲示物を廊下壁面に設置した。「あらゆる他者を価値ある存在として尊重する」→（わかりやすく言えば）「自分のことのように相手のことも大切にすること」→（具体的には）「人の嫌がることをしない、言わない」という内容の他、お互いが心地よいと感じる関わり方のポイントとして「行動の『ものさし』」や、「思いやり」について考えることをねらった資料も掲示した。</p> <p>成果</p> <p>学校長から直接「他者の尊重」について授業を受けたことで、その大切さを生徒はより強く感じたようである。また、関連した掲示物により、その学びを思い返したり、「他者の尊重」や「思いやり」について考えたりするきっかけをつくることができた。</p> <p>課題</p> <p>1時間だけの学びになってしまわないように、日頃の道徳の時間に上記の内容に触れる機会を積極的に設けていきたい。特に道徳の内容項目で、B(6)思いやり・感謝、B(9)相互理解・寛容、D(19)生命の尊さの指導の際に取り組めるようにし、年間を通じて「他者の尊重を意識づけていきたい。</p>